

(口) 中央委員會議報告

第一回中央委員會

昭和六年一月四日 東京本部にて
出席 大矢、上條、高橋松、今村、山内、茅野、藤岡、菊川、鈴木、白鳥、安藝、山下、金井、山口、桑島、内田

▼議 事

- 一、日本労働クラブ排撃同盟対策の件
十一月三日芝協同會館にて結成されたクラブ排撃同盟に對する對策を左の如く決定す。
イ、今回のクラブ排撃運動は明らかに同盟の統制を著すものとして規約による處断をなすべきであるが全國労働例の分裂を防止する最後の努力として本部代表者(大矢、藤岡、今村)をあげて、反對派の首腦者と會見し、排撃同盟の即時解體を要求すること。(代表者の會見終了まで休題し再開その報告に基づき更に左の如く對策を決定す)
ロ、反對派代表者(高橋涉)との會見の結果反對派としては「事情に至つては止を得ず」との意見であるが、同盟本部としては更に慎重なる態度をもつて本問題處理する必要を認め、正式文書をもつて排撃同盟解體の通告をなすこと。但し通告の回答は五日正午迄とすること。尙ほこの際加盟各組合並に支部に對しても緊急指令を發すること。

尙ほこの代表者會議に於て新役員を補充し左の如く役員を發表。

- 中央委員長 河上丈太郎(推薦)
- 主事兼會計 菊川忠雄
- 中央委員 井上良二、山口常次郎、鈴木悅次郎、鶴五三、茅野真好、小松原光太郎、植田重義、菊川忠雄、石橋憲二、高梨二夫、久下本有、高橋松次、
- 統制委員 委員長河野勇、關權藏、雪下健一、高橋涉、桑島末吉、天滿芳太郎
- 關西事務局 局長高橋松次、主任山口常次郎、
- 専門部長
- 政治部長 河上丈太郎 組織宣傳部長小松原光太郎
- 筆談部長 山口常次郎 教育部長 菊川 忠雄
- 法律部長 田萬 清臣 出版部長 内田佐久郎
- 調査部長 河野 密 國際部長 井上 良二
- 婦人部長 岩内とみえ

第二回 中央委員會

十一月五日 東京本部にて
出席 大矢、上條、高橋松、今村、山内、茅野、菊川、鈴木、藤岡、白鳥、安藝、山下、山田、桑島、内田、

▼議 事

- 一、クラブ排撃運動責任者除名の件
同盟本部よりの通告に對して反對派よりは何等の回答なしよつて第二十二條により斷乎その責任者として左の四名を除名すること。
石橋憲一、高梨二夫、加藤勘十、關家博
- 二、同盟本部の今後の執行方針に關する件
クラブ排撃運動に對する今後の一切の處置は常任執行委員會に一任すること。
- 第三回 中央委員會
十月二十六、七日東京本部に於て
出席 大矢、上條、今村、茅野、白鳥、菊川、山下、藤岡、山内、山口、鈴木、安藝、内田、外傍聽數名、
▼報告及承認事項
一、組織部—廣島合同再建準備會成立、致賀合同加盟申込は關西事務局にて調査し處置を決すること
二、争議部—日光鋸山争議
三、人事報告—大阪選出中島中央委員は解任、後任は大阪聯合會にて選任せる桑島南海士君

第四回 中央委員會

昭和七年一月二十日東京本部にて

- 四、日本労働クラブ第二回總議會の報告(別項記事参照)
- 一、全國大會議案整理方針の件
大會採擇議案中未審議のものは來春可及的速かに大會に代はるべき加盟組合の代表者會議を開催して審議決定すること
- 二、クラブ排撃同盟對策の件
イ、日本運輸、東京出版、關東木材、大阪織維の四組合は除名
ロ、關東新聞、大阪合同、大阪印刷出版、ガラス産業の四組合は消滅とす
ハ、青バス現業員會には警告す
ニ、鋸夫組合はその機關にてクラブ問題を決したることなく高梨君の如きガラス産業の代表者として行動し來つた事明らかなる故鋸夫組合はこの際同盟本部にて事務管掌をなすこと、委員に藤岡、今村兩君を選任
ホ、其他善後處置は常任執行委員會に一任す
- 三、東京地方聯合會に關する件
四、全國勞農大衆大會對策の件
黨本部の方針に協力し、クラブ問題は黨本部擴大中央執行委員會の決定を支持して臨むこと